

$n$  を正の整数とし、 $n$  個のボールを3つの箱に分けて入れる問題を考える。ただし、1個のボールも入らない箱があってもよいものとする。

以下に述べる4つの場合について、それぞれ相異なる入れ方の総数を求めたい。

- (1) 1から $n$ まで異なる番号のついた $n$ 個のボールをA, B, Cと区別された3つの箱に入れる場合、その入れ方は何通りあるか。
- (2) 互いに区別のつかない $n$ 個のボールをA, B, Cと区別された3つの箱に入れる場合、その入れ方は全部で何通りあるか。
- (3) 1から $n$ まで異なる番号のついた $n$ 個のボールを、区別のつかない3つの箱に入れる場合、その入れ方は全部で何通りあるか。
- (4)  $n$ が6の倍数 $6m$ であるとき、 $n$ 個の互いに区別のつかないボールを、区別のつかない3つの箱に入れる場合、その入れ方は全部で何通りあるか。

< '96 東京大 >

【略解】

- (1)  $n$  個のボールの行先は各々3通りあるため  
 $3^n$ 【通り】… ㊦

- (2)  $n$  個の○と2本の仕切りの並べ方を考えて

$${}_{n+2}C_2 = \frac{(n+2)(n+1)}{2} \text{【通り】} \dots \text{㊦}$$

- (3) (i) 空箱が2つあるとき

箱に区別があれば、3通りだが、実際には3箱の区別はない。よって、1通り

- (ii) (i) 以外のとき

求める場合の数を  $a$  通りとする。

この  $a$  通りに対して、箱に区別をつけると  $a$  通りそれぞれに対して  $3!$  通り分の区別が発生する。

$$\text{これより、} a \cdot 3! = 3^n - 3 \text{ であるため、} a = \frac{3^n - 3}{6}$$

$$(i), (ii) \text{ より、} 1 + \frac{3^n - 3}{6} = \frac{3^{n-1} + 1}{2} \text{【通り】} \dots \text{㊦}$$

- (4)  $n = 6m$  ( $m = 1, 2, \dots$ ) として

$$\begin{cases} x+y+z=6m \\ x \leq y \leq z \end{cases} \text{ を満たす非負整数の組 } (x, y, z) \text{ の総数を求める。}$$

[1]  $x=y=z$  のとき  $(x, y, z) = (2m, 2m, 2m)$  という1通り

[2]  $x=y < z$ , または  $x < y = z$  のとき

$$\{0, 0, 6m\}, \{1, 1, 6m-2\}, \dots, \{3m, 3m, 0\}$$

という  $3m+1$  通りから、 $\{2m, 2m\}$  を除く  $3m$  通り

[3]  $x < y < z$  のとき

このときの  $(x, y, z)$  の組の総数を  $b$  通りとする。

[1], [2], [3] で箱に区別を付けたものの総数が(2)で考えた

$$\frac{(n+2)(n+1)}{2} \left( = \frac{(6m+2)(6m+1)}{2} \right) \text{【通り】}$$

となるため

$$1 + (3m) \cdot \frac{3!}{2!1!} + b \cdot 3! = (3m+1)(6m+1)$$

これより、 $b = 3m^2$  を得る。

以上 [1], [2], [3] から、 $1 + 3m + 3m^2$  通りであり、 $n = 6m$

すなわち  $m = \frac{n}{6}$  であることを考えると

$$\frac{n^2}{12} + \frac{n}{2} + 1 \text{【通り】} \dots \text{㊦}$$